

ふりがな 氏 名	かどまつ あい 門松 愛	職 名	講師
取 得 学 位	博士(教育学)	学会での受賞歴	国際幼児教育学会学術賞受賞(平成29年9月) 日本比較教育学会平塚賞特別賞受賞(令和4年6月)
主な担当科目	保育原理、教育課程論、保育内容総論、保育実習指導Ⅰ		
所 属 学 会	日本比較教育学会、日本乳幼児教育学会、国際幼児教育学会、日本子ども社会学会、日本保育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
1. 講義用教材・Web資料の作成	令和3年4月～	保育原理・教育課程論(名古屋女子大学)の授業では、パワーポイントで講義用教材を作成した。学生には対面にて印刷したスライド資料を配布し、オンライン上にて解説付きのパワーポイント資料をアップロードすることで、自宅での予習・復習が可能となるようにした。
2. 高大一貫連携事業・体験授業の実施	令和3年11月18日	岐阜県立加茂高等学校で、保育学に関する模擬授業を行った。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	保育原理	共	平成30年 3月	七猫社	第8章「世界の保育の現状と未来」(pp.117～132) 編者:山本一成 著者:門松愛、他7名
	教職・保育職シリーズ 5 教育・保育の新視点	共	平成30年 3月	三恵社	第5章「地域との連携を視野に入れた教育・保育の計画の検討—年齢や発達段階別の工夫に焦点を当てて—」(pp.41～50) 編者:名古屋女子大学文学部児童教育学科 著者:門松愛、他31名
	グローバル人材育成と国際バカロレア: アジア諸国のIB導入実態	共	平成30年 3月	東信堂	第1章「日本における国際バカロレアの展開」(pp.21～42) 編者:李霞、著者:李霞、門松愛ほか4名
	教育法規スタートアップ・ネクスト	共	平成30年 5月	昭和堂	TOPIC11「教育思想史」(p.45)、12「近年の主な学校教育法改正と関連政策」(p.49)、23「学校制度体系の国際比較」、24「学校」の歴史」(p.71)、30「幼児教育の歴史」、31「就学前教育の国際比

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	教員免許講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3	共	平成30年7月	三恵社	較」(p.98) 編者:高見茂、開沼太郎、宮村裕子 著者:門松愛、他12名
	比較教育学原論	共	平成31年4月	協同出版	第1章第6節「幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂にみる保育の理念の変遷」(pp.41～50) 編者:名古屋女子大学文学部児童教育学科 著者:門松愛、他23名
	シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解	共	令和元年7月	三恵社	「第15章 東南アジア・南アジアの教育 第5節 バングラデシュの教育」 編者:杉本均、南部広孝 著者:門松愛、他21名
	シリーズ教育・保育の論点 理論と実践	共	令和2年8月	三恵社	第6章「日本とシンガポールにおける多文化共生保育」 編者:名古屋女子大学文学部児童教育学科 著者:門松愛、他18名
	バングラデシュの就学前教育:無償制度化の構造的特徴と人びとの教育選択	単	令和3年1月	明石書店	第5章「保育者に求められる専門性の変遷—子どもとの関わり方に関する理論に注目して—」 編者:名古屋女子大学文学部児童教育学科 著者:門松愛、他15名
	シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び	共	令和3年7月	三恵社	第7章「諸外国における保育計画の相違に関する検討」 編著:名古屋女子大学文学部児童教育学科 著者:門松愛、他18名
	教育からみる南アジア社会 交錯する機会と苦悩	共	令和4年3月	玉川大学出版部	第9章『教育熱』は幼児に何を与えるか—バングラデシュにおける過熱化する私立の就学前教育 監修:押川文子 編著:小原優貴ほか4名

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	リーディングス比較する比較教育学	共	令和5年3月	東信堂	著者:門松愛、他21名 第4章「南アジアにおける就学前の保育と教育(ECCE)プログラムの展開」解題 編著:杉本均・南部広孝 著者:門松愛、他15名
論文	保育・幼児教育における記録の種類と活用法～保育実践および教育課程の改善・評価の視点から～	単	平成30年2月	名古屋女子大学児童教育学科編『教育・保育モノグラフ』No.2	21-30頁
	幼児教育・保育課程の歴史的変遷—子どもの育ちの捉え方とつけに着目して—	単	平成30年3月	『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』第64号	333-346頁
	社会全体で子どもを育てる制度作りに関する考察—愛知県の地域子育て支援事業の事例を中心に—	単	平成30年12月	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『児童教育学科論集』第2号	118-127頁
	保育内容と指導法に関する日米比較—教科書分析を通して—	単	平成31年3月	『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』第65号	229-241頁
	保育におけるICT活用の可能性:諸外国との比較から	単	令和元年12月	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『児童教育学科論集』第3号	56-65頁
	モンテッソーリ教育の伝播における文化的相違に関する一考察—欧米、日本、ベトナムの比較から—	単	令和2年3月	『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』第66号	251-264頁
	バングラデシュにおける無償の就学前教育政策の構造的特徴と課題	単	令和2年3月	京都大学大学院教育学研究科	博士論文
	制度から見た「幼保一元化」政策の比較研究—台湾の幼稚園と日本の認定こども園の位置付けと役割に焦点をあてて—	共	令和2年3月	『地域連携教育研究』第5号	廖于晴、門松愛著、66-83頁 (担当部分:2. 日本における認定こども園の導入と展開)
	保育における長期の計画の共通性—3歳児の年間指導計画に着目して—	単	令和3年12月	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『児童教育学科論集』第5号	110-119頁。

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	ベトナムの保育者養成課程における保育技術の教授—教科書分析から—	単	令和4年3月	『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』第68号	151-164頁
学会発表	フランスにおける無償の幼児教育の構造—セルジー市の場合(口頭発表)	共	平成30年5月	日本家政学会第70回大会(日本女子大学)	日日本家政学会研究発表要旨集、112頁。
	バングラデシュにおける無償の就学前教育の展開(学術賞受賞記念講演)	単	平成30年9月	国際幼児教育学会第39回大会(福山市立大学)	国際幼児教育学会第39回大会発表論文集、15-17頁。
	バングラデシュにおける無償の就学前教育の構造(口頭発表)	単	平成30年12月	日本乳幼児教育学会第28回大会(岡山コンベンションセンター)	
	日米の教科書における子どもと関わる技術の教授法比較	単	令和元年12月	日本乳幼児教育学会第29回大会(東北文教大学)	
	ベトナムにおける保育者養成カリキュラムの分析	単	令和2年	国際幼児教育学会第41回大会(広島大学・Web開催)	
	南アジアにおける保育の質向上の動向—インドとバングラデシュの事例から	共	令和3年6月	子ども社会学会第27回大会(大阪商業大学・Web開催)	担当:バングラデシュの事例 ○小原優貴・ <u>門松愛</u>
	ベトナム幼・小教育課程における教員養成の特質—保育・教育原理の転換という視点から	共	令和3年6月	日本比較教育学会第57回大会(筑波大学・Web開催)	担当:幼児教育課程について ○ <u>門松愛</u> ・関口洋平
	幼保小接続の国際比較	共	令和3年6月	日本比較教育学会第57回大会(筑波大学・Web開催)	担当:「バングラデシュにおける就学前教育の無償制度化と幼小接続」 ○坂本真由美・一見真理子・赤星まゆみ・中田麗子・ <u>門松愛</u>
	ベトナムの保育者養成課程における保育者の役割と「技術」の教授—教科書分析から—	単	令和3年9月	国際幼児教育学会第42回大会(Web開催)	
	世界の幼児教育のニューノーマル	共	令和3年9月	国際幼児教育学会第42回大会 大会シンポジウム(Web開催)	担当:「総括」 <u>門松愛</u> ほか13名
図書紹介『バングラデシュの就学前教育—無償制度化の構造的	共	令和4年6月	日本比較教育学会第58回大会 BOOK	<u>門松愛</u> 、他4名	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	特徴と人びとの教育選択』			TALK Session 明石書店(Web 開催)	
その他 (報告書)	(授業資料教材) 保育実習の手引き	共	平成 30 年 3 月	名古屋女子大学文学 部児童教育学科	分担:指導計画(指導案)の書き 方(pp.42~45) 編者:名古屋女子大学文学部児 童教育学科保育実習担当 著者:門松愛、他 11 名